

きらり チームほおの木

<笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい>

令和2年6月9日(火)
文責 伊藤 博子

チームほおの木 再始動

学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。以前のような学校生活を送りたいところですが、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、安全が保障されたわけではありません。実際に全国では、「第2波の真ただ中」という地域もあり、毎日のように感染者数の増加が報告されています。学校も、今までとは異なる「学校の新しい生活様式」に合わせ、生活しています。新型コロナウイルス感染症への対応に加え、熱中症への対応もしていきます。子どもたちが元気で学校生活を送ることができるよう気を付けていきます。



なかよく たくましく生きる

これは、喜多方市人づくり指針です。詳しくは、裏面をご覧ください。子どもたちは、集団で生活をしています。その集団の中には、様々な人がいます。当然、自分と気が合う人、合わない人がいます。その中でも、たくましく生きていってほしいと思います。自分の意に沿わない人がいるからといって乱暴なことをしたり、無視したりするのは、絶対に許されないことです。誰でもいい面をたくさん持っています。互いに認め合い、切磋琢磨して、よさをどんどん伸ばしていってほしいです。喜多方市の人づくりの指針には、これから生きていく上での、大切なことがまとめられています。

すごいぞ!チームほおの木

今回は、チームほおの木の中でも、先生方の素晴らしさをお伝えします。

その1「農業科実施への準備」

他の市町村よりいち早く学校を再開した喜多方市。18日と19日は、授業を午前中で終え、20日からの完全再開へ向け、様々な準備をしました。18日の午後は、先生方で、学校の前の畑の畝づくりを行いました。農業科支援員の田中さんが耕してくれた畑を、先生方で仕事を分担し、各学年の作物の植え付けがすぐできるよう作業しました。農業科担当の遠藤先生の指示の下、マルチシートを押さえる人、鍬を上手に使ってシートの端に土をかける人、畝がまっすぐになるように糸を張る人、その糸に沿って畝を作る人、畑の中から出てくる大きな石を拾う人等抜群のチームワークです。鈴木国浩先生は、草刈り機で畑周りの草を刈りました。すると、すぐにその草を集める人がいて、あっという間に広い畑にいくつもの畝ができました。みんな汗だくになりながら、一生懸命作業を進めました。次の日、先生方の体の動きがどこかごちなかつたのはご愛敬。それから金曜日までが、とても長く感じたのは、私だけではなかったと思います。

その2「プール清掃」

例年、PTAの皆様のお力をお借りして行っていたプール清掃を先生方で行いました。ここでもチームほおの木が大活躍。特に、教頭先生、鈴木国浩先生、高橋吉博先生、山内浩先生が、多忙な中でもほんの少しのすきまの時間を活用して、コツコツと進めてくださったおかげで、全員で行う時間がとても短く、きれいに掃除することができました。二小の先生方の力は本当にすごいです。これで、水泳学習の準備もしっかり整いました。